



2024年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年3月15日

上場会社名 ベルグアース株式会社

上場取引所 東

コード番号 1383 URL <http://www.bergearth.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO兼COO (氏名) 山口 一彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 野本 幸代

TEL 0895-20-8231

四半期報告書提出予定日 2024年3月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第1四半期の連結業績（2023年11月1日～2024年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第1四半期	739	△20.1	△321	—	△315	—	△222	—
2023年10月期第1四半期	925	69.6	△313	—	△305	—	△212	—

(注) 包括利益 2024年10月期第1四半期 △224百万円 (—%) 2023年10月期第1四半期 △212百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第1四半期	△139.38	—
2023年10月期第1四半期	△148.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第1四半期	5,192	1,841	34.6
2023年10月期	5,672	2,082	35.9

(参考) 自己資本 2024年10月期第1四半期 1,794百万円 2023年10月期 2,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年10月期	—	—	—	—	—
2024年10月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年10月期の連結業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	0.5	90	17.5	98	△8.1	77	△1.3	48.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期 1 Q	1,610,500株	2023年10月期	1,610,500株
② 期末自己株式数	2024年10月期 1 Q	13,174株	2023年10月期	13,174株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年10月期 1 Q	1,597,325株	2023年10月期 1 Q	1,534,133株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成が当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進む中で、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加などにより緩やかな回復が続くことが期待されております。一方で、ウクライナ紛争の長期化やガザ情勢等の影響などにより世界情勢が不安定な中、金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念、原材料価格やエネルギー価格の高止まりなどの影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの第1四半期連結累計期間（11月～1月）の業績につきましては、主力製品である野菜苗の需要が全国的に減少する時期であるため、売上高が他の四半期と比較して少額となる傾向にあります。一方、コスト面では、減価償却費や間接部門の人件費等が各四半期に概ね均等に発生することに加え、燃料費等の冬季経費が発生するなど季節的な業績変動要因があります。また、前連結会計年度における、伊予農産株式会社の決算期変更の影響により前年同期からは減収となりました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は739,670千円と前年同四半期と比べ185,710千円（△20.1%）の減収となりました。損益面につきましては、営業損失321,032千円（前年同四半期は営業損失313,194千円）、経常損失315,384千円（前年同四半期は経常損失305,724千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は222,638千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失212,744千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

（野菜苗・苗関連事業）

当事業部門におきましては、伊予農産株式会社の決算期変更の影響により前年同期から減収となりましたが、11月～1月の野菜苗需要が全国的に減少する中、自社農場及びパートナー農場の全国の生産拠点での生産体制及び配送体制を活かしたことによる営業推進により、関東向けの売上が増加いたしました。また、品質や生産体制が評価されたことにより、九州向けの売上も増加いたしました。

損益面につきましては、暖冬の影響により、12月以降の重油使用量や電力使用量が減少した一方で、増産体制に向けた人員増加や売上拡大へ向けた営業活動の増加などにより、製造経費及び販売費及び一般管理費が増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高566,972千円（前年同四半期比8.5%減）、セグメント損失（営業損失）は197,641千円（前年同四半期はセグメント損失194,294千円）となりました。

品目分類別の売上高は次のとおりであります。

品目分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
トマト苗	130,130	98.7
キュウリ苗	152,387	109.4
ナス苗	19,359	49.1
スイカ苗	35,859	123.7
メロン苗	110,086	111.8
ピーマン類苗 (注1)	21,683	92.3
その他 (注2)	97,465	61.8
合計	566,972	91.5

(注1) ピーマン類として、ピーマン・パプリカ・シシトウ・トウガラシをまとめて表示しています。

(注2) 玉ねぎ苗、葉菜苗、花苗等を含んでおります。

規格分類別の売上高は次のとおりであります。

規格分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ポット苗 (7.5cm~15cm) (注)	234,895	100.3
当社オリジナル (アースストレート苗、ヌードメイク苗、e苗シリーズ、高接ぎハイレグ苗、ウイルスガード苗、ツイン苗)	189,704	87.4
セル苗 (512穴~72穴) (注)	86,978	105.6
その他	55,394	64.7
合計	566,972	91.5

(注) ポット苗は、ポリエチレンのポット (ポリ鉢) で育苗した一般的な苗 (当社においては、主に断根接ぎ木苗にて育苗した苗) であり、ポットのサイズが大きくなると苗のサイズも大きくなります。セル苗は、小さな穴が連結した容器 (セルトレイ) で育苗した苗であり、穴数が増えると苗のサイズが小さくなります。

納品地域分類別の売上高は次のとおりであります。

納品地域分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
北海道・東北	48,780	123.0
関東	332,436	105.5
甲信越 (注)	27,104	110.3
中部・北陸	17,212	64.2
近畿・中国	45,498	92.3
四国	44,261	43.1
九州・沖縄	51,678	84.4
合計	566,972	91.5

(注) 静岡は「甲信越」に含めて表示しております。

(農業・園芸用タネ資材販売事業)

当事業部門におきましては、伊予農産株式会社の決算期変更の影響により前年同期から減収となりましたが、営業推進によりオリジナル培土や種子などの売上が増加いたしました。損益面につきましては、伊予農産株式会社が前連結会計年度において5ヵ月間の売上高計上をしていることに加え、販売強化に伴う販促費用の増加、仕入価格の値上げ等により利益率が減少したことなどにより営業損失となりました。

今後も、PB品種の種子やオリジナル肥料等のサンプルワークによる営業活動を進めるとともに、農業関連メーカーとの商品開発や肥料メーカー等協力企業との連携を深めることにより商品ラインナップの充実を図ってまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高142,101千円（前年同四半期比48.8%減）となりました。また、セグメント損失（営業損失）は2,829千円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）7,611千円）となりました。

(小売事業)

当事業部門におきましては、11月～1月は売上が減少する時期ではありますが、園芸フェアの開催や希少価値の高いパンジー・ビオラなどの花苗の販売、愛媛県産品の柑橘などの販売や愛媛県内生産者への野菜苗や農業資材等の販売推進を行ってまいりました。また、コロナ禍の園芸ブームがひと段落したことにより、客数が減少していましたが、客単価は前年を上回ったことなどにより売上増加に繋がりました。今後も、消費者ニーズを捉えた商品の提案とマーケティング活動を行いながら、店舗の集客力向上による売上拡大と収益力の改善に向けて取り組んでまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高30,595千円（前年同四半期比7.9%増）、セグメント損失（営業損失）は5,397千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）3,659千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産の合計は、前連結会計年度末と比べ480,070千円（8.5%）減少の5,192,174千円となりました。これは、現金及び預金の減少112,975千円、受取手形及び売掛金の減少471,490千円、電子記録債権の減少234,700千円、棚卸資産の増加293,507千円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比べ239,111千円（6.7%）減少の3,350,809千円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少86,231千円、電子記録債務の減少56,534千円、長期借入金の減少31,383千円、短期借入金の増加150,000千円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末と比べ240,958千円（11.6%）減少の1,841,365千円となりました。これは、剰余金の配当及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、連結業績予想については2023年12月13日の開示時点から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,002,293	889,318
受取手形及び売掛金	982,205	510,715
電子記録債権	344,725	110,025
商品及び製品	97,666	160,529
仕掛品	76,214	247,080
原材料及び貯蔵品	182,647	242,425
その他	84,158	99,138
貸倒引当金	△8,816	△9,889
流動資産合計	2,761,095	2,249,344
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,669,826	1,653,395
機械及び装置(純額)	167,979	161,182
土地	685,641	721,007
その他(純額)	72,752	68,763
有形固定資産合計	2,596,198	2,604,349
無形固定資産	60,912	67,088
投資その他の資産	254,039	271,392
固定資産合計	2,911,150	2,942,830
資産合計	5,672,245	5,192,174

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	598,458	512,227
電子記録債務	74,797	18,263
短期借入金	600,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	343,251	331,407
未払金	192,612	227,866
未払法人税等	72,257	8,464
賞与引当金	62,750	32,284
その他	164,928	97,622
流動負債合計	2,109,056	1,978,136
固定負債		
長期借入金	1,127,571	1,096,188
退職給付に係る負債	15,804	16,306
資産除去債務	137,694	137,931
その他	199,795	122,247
固定負債合計	1,480,864	1,372,672
負債合計	3,589,921	3,350,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	724,476	724,476
資本剰余金	605,759	605,759
利益剰余金	739,022	500,282
自己株式	△32,726	△32,726
株主資本合計	2,036,531	1,797,791
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,290	3,156
為替換算調整勘定	△6,244	△6,339
その他の包括利益累計額合計	△2,953	△3,183
非支配株主持分	48,746	46,757
純資産合計	2,082,324	1,841,365
負債純資産合計	5,672,245	5,192,174

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
売上高	925,380	739,670
売上原価	858,657	704,083
売上総利益	66,722	35,586
販売費及び一般管理費	379,917	356,619
営業損失(△)	△313,194	△321,032
営業外収益		
受取利息	72	6
受取配当金	153	174
受取手数料	2,370	646
補助金収入	3,051	1,100
貸倒引当金戻入額	5,378	1,571
その他	2,218	4,980
営業外収益合計	13,245	8,479
営業外費用		
持分法による投資損失	986	186
支払利息	2,424	2,115
過年度関税等	1,810	—
その他	553	529
営業外費用合計	5,775	2,831
経常損失(△)	△305,724	△315,384
特別利益		
固定資産売却益	33	36
受取保険金	1,875	800
特別利益合計	1,908	836
特別損失		
固定資産除却損	0	447
リース解約損	—	150
特別損失合計	0	597
税金等調整前四半期純損失(△)	△303,815	△315,145
法人税、住民税及び事業税	4,220	2,721
法人税等調整額	△92,616	△93,239
法人税等合計	△88,396	△90,518
四半期純損失(△)	△215,419	△224,627
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,675	△1,988
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△212,744	△222,638

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
四半期純損失(△)	△215,419	△224,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	527	△134
為替換算調整勘定	2,079	△95
その他の包括利益合計	2,607	△229
四半期包括利益	△212,812	△224,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△210,137	△222,868
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,675	△1,988

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	野菜苗・苗 関連事業	農業・園芸用 タネ資材販売 事業	小売事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	619,361	277,653	28,365	925,380	—	925,380
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	619,361	277,653	28,365	925,380	—	925,380
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1,341	4,208	1,927	7,476	△7,476	—
計	620,703	281,861	30,292	932,856	△7,476	925,380
セグメント利益又は損失 (△)	△194,294	7,611	△3,659	△190,341	△122,853	△313,194

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△122,853千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	野菜苗・苗 関連事業	農業・園芸用 タネ資材販売 事業	小売事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	566,972	142,101	30,595	739,670	—	739,670
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	566,972	142,101	30,595	739,670	—	739,670
セグメント間の内部売 上高又は振替高	728	8,301	1,714	10,743	△10,743	—
計	567,700	150,403	32,310	750,413	△10,743	739,670
セグメント損失(△)	△197,641	△2,829	△5,397	△205,867	△115,164	△321,032

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△115,164千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。